

大阪開催の上記イベントは部活動の出張で参加できないので、東京でのイベントに個人研究費で参加した。同行は瀬野先生。開催場所は東京ベイサイドの有明付近にある東京ビッグサイト内の Tokyo Fashion Town。



1 校務の情報化による業務改善と教育の質的向上

柏市立教育研究所教育専門アドバイザー 西田 光昭さんが講演者。埼玉県さいたま市・千葉県市原市・静岡市の事例をもとに、

- 1) 校務支援システムで事務作業を軽減し子どもと向き合う時間を創出する取り組み
- 2) 教職員が上記システムを利用可能とする為に事業者・専門家が協力していく試み
- 3) 事務・校務・教研用 Network を一本化し、セキュリティを確保する試み などの説明があった。

感想 校務の情報化は、他の分掌とも連携する必要があり、私たちだけで判断できる内容ではないが、校務の情報化に止まらず、教育の情報化を目指そうとする姿勢と先進的な取り組みは大いに参考になった。

2 2020 年度からの新学習指導要領を踏まえた教育の情報化の推進について

新学習指導要領の目的・それを達成するための情報化の推進計画の全容について、文部科学省生涯学習政策局情報教育課長 梅村 研さんが講演。国際競争力を急速に失いつつある日本の国力を再生するための教育改革が今度の学習指導要領の目的であり、ICT 面での設備目標も来場している地方自治体の方に向けて年次計画として示された。

感想 今回の改訂は、現実には全ての学校で実施可能とはとても思えない。一部の達成できるエリート校と、達成できない大多数のその他の学校に別れることが想像できる。つまり、教育格差の拡大という未来である。その時、関大一高一中はどちらになるのか？これからの選択次第で本校の未来は大きく変わるのでは？等々、とても刺激を与えられたセミナーだった。

3 アクティブラーニング時代の新しい学校施設を考える

呉工業高等専門学校建築学科准教授 下倉 玲子先生が、各国のアクティブラーニングの実践の様子と、そのために学校施設をどのようにしているのかを説明してくれた。

感想 施設とともに、アクティブラーニングの実施例の説明が聞けたのが大変参考になった。

全体の感想

大阪で参加したセミナーに比べ、来場されている関係者の種類も幅広く講演の内容も総論的ではあるものの具体性が高く、質の高いイベントだった。新学習指導要領で前提とされるアクティブラーニングと、それを実現させるための ICT 環境の整備が、関大一高一中でも急務であると強く感じた。それと同時に、教員がアクティブラーニングを実現可能にするための努力が必須であることも痛感した。

以上